

A&I



井手 綾香 Ayaka Ide

18歳。都井小、中学校を卒業し、いまは宮崎市にある高校に通う。アメリカ人でプロダンサーだった母と、福岡でバンド活動をしていた日本人の父をもつ。4歳からピアノを始め、いつしか曲を生むようになると次に詞を描き、自ら歌い表現した。「うたとピアノ」だけで紡ぐ、ありのままの楽曲を歌う。3月16日1stミニアルバム「Portrait」から、413曲もの候補曲から選ばれた奇跡の楽曲エスエス製薬 ハイチオールCプラスCMソング「雲の向こう」がCD+DVDスペシャルパッケージシングルとして6月22日にリカットリリース。また、8月3日にはミニアルバム「Portfolio」を発表。

井手綾香オフィシャルウェブサイト
<http://www.jvcmusic.co.jp/ideayaka/>

井手綾香、 18歳の歌姫

3月16日、ファーストミニアルバムを発表し、歌手として全国デビューした井手綾香さん。串間で生まれ育った新たな歌姫を紹介します。

串間市都井地区。串間を代表する観光地である都井岬を擁するこの地区から、今年、井手綾香さんが歌手として歩み始めました。現在、高校生として学生生活を送りながら歌手として県内外にて活動しています。今回は井手綾香さんのインタビュをお届けします。

—音楽を始めたのはいつから

4歳の時です。家にピアノがあったので。本格的に始めたのは中2の半ばくらいかな。この頃から作曲するようになりました。

—どんな曲を作曲したのですか

クラシックです。といっても、即興でピアノを弾くという感じの作曲なので、二度と同じ曲を弾くことができない(笑)。父が音楽をしている人だったので、家にレコーディングできる機材もありました。

—歌を通して、どんなことを伝えたいですか

今、18歳なんですけど、18歳のわたしが今思ったことや感じたこと、そして20歳になったときのわたしがそのとき感じたこと、そのときのありのままの自分を表現していきたいです。たくさん曲を聞いてほしいですね。

—都井岬ではよくプロモーションビデオなどの撮影をしていますね。思い出などありますか

小学生のときなどは、よく遠足で来ていました。あと、親戚の人とかが来ると、ここに連れてきたりして。—これから、やってみたいことや夢などありますか

母方のおじいちゃんがトロンボーン奏者なんですけど、そのおじいちゃんと1曲だけでもいいから2人で共演できたらいいなって思っています。

—コンサートなどは

そうですね。宮崎はもちろんですけど、主に九州。名古屋や大阪などでコンサートを開きたいですね。

—最近CMでよく綾香さんの曲を耳にします

3月のメジャーデビュー以来、一番反響が大きいです。

—これからの活動は

8月3日にミニアルバムをリリースします。あと10月に串間市で開催される市民音楽祭に出演予定です。地元の皆さんの前でライブできるので、楽しみです。